

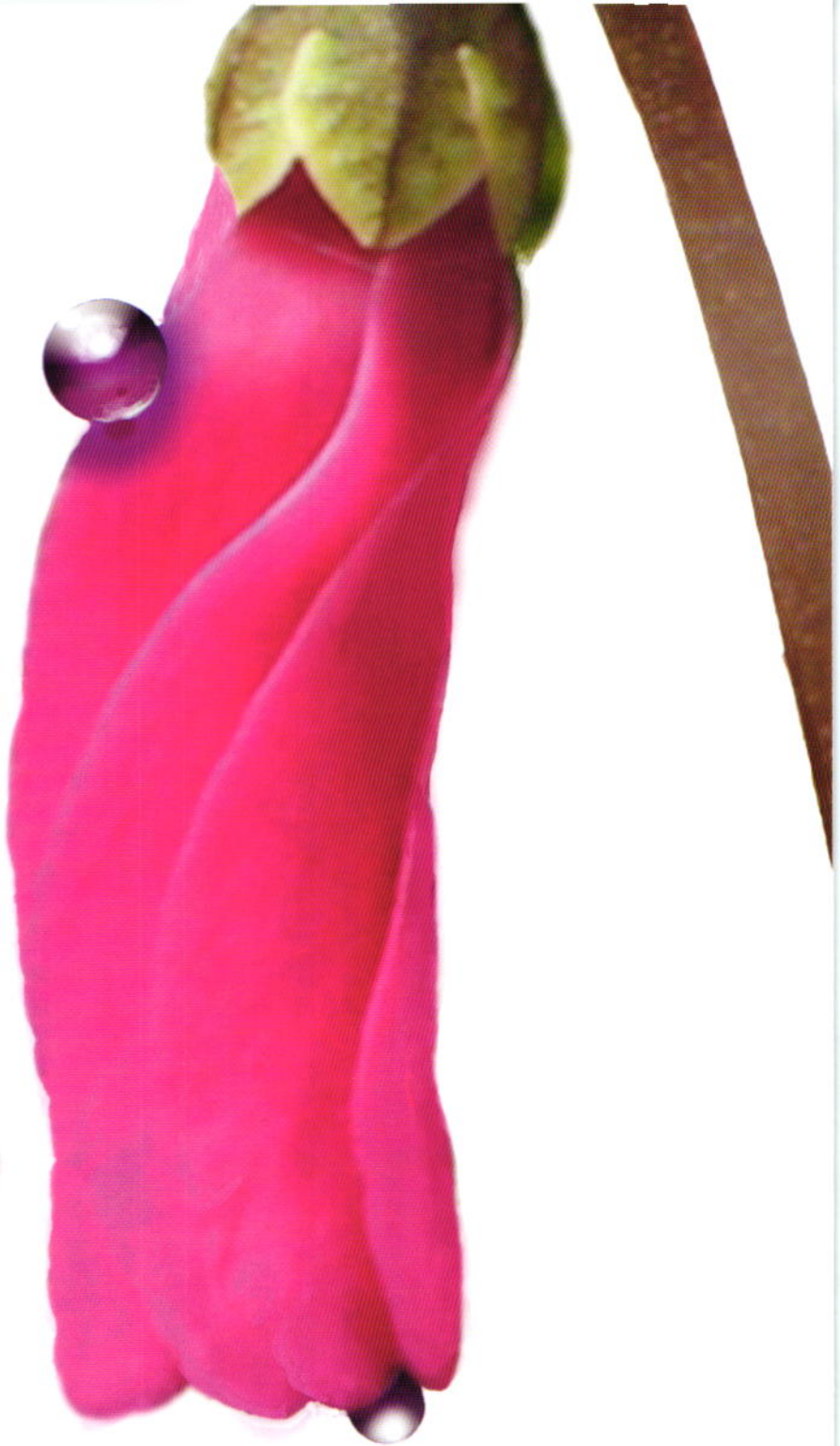
千葉県立多古高等学校

TAKO

コミュニティ・スクール情報誌

から版

Vol. 6



INDEX

- 1p コミュニティ・スクールの活動実績
創立110周年記念事業お知らせ
- 2p 全国農業高等学校長協会 平成28年度教職員表彰
- 3p 平成29年度 多古高校開放講座ご案内

「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)は、保護者や地域の方々などで構成される「学校運営協議会」を通じて、よりよい教育を目指すための、地域に支えられる学校づくりの仕組みです。

多古町だからできるコミュニティ・スクール

地域の方々の励ましと、見守りがあるから頑張れる。

一日の始まりは、暖かい挨拶から
朝のあいさつ運動は、平成二十五年度から実施、四年目になります。生徒は、コミュニティ・スクール委員から「今日は英単テストだね。頑張って！」と声をかけてもらって、「何で知ってるの?」と、びっくり! あらかじめ委員が行事を知っておくことで、委員と生徒との距離がより身近になり、会話が弾みます。その結果、遅刻が減少し、明るいあいさつ、礼儀正しいあいさつができるようになりました。



授業にほどよい緊張感を
コミュニティ・スクール委員は、授業参観や進路ガイダンス等の見学を行っています。授業参観だと、生徒たちは見られている意識からいつもより緊張して授業に集中でき、委員も多古高校の進路指導や学習指導の取り組みを知ること、相互理解が深まっています。
多古高校の良さを知ってもらう機会を増やしてきました
多古高校の生徒は今年もたくさん多古町の行事に参加しました。



・多古町なのはな祭り・多古町ふるさとあじさい祭り・多古米グランプリ祭り・多古町いきいきフェスタ・花を楽しむ交流会（多古中学校交流事業）・夢を育む花づくり交流会（小学校2校）・学校開放講座（地域住民との交流）・県知事選挙事務（町内各投票所での補助作業）・公共広場の清掃美化活動
成果として地域行事への生徒の参加がより活発になり、地元の小・中学校との交流が進展しました。このように生徒の様子を地域に知られる場面が増えたり、地域の方々から支援を得る機会が多くなると、生徒は社会の一員としての自覚が生まれ、生活態度が落ちていきました。

多古高吹奏楽部&多古中吹奏楽部



平成29年2月4日(土)多古町コミュニティ・プラザで「みんなで人権を考える集いIN多古」が開催されました。そのオープニングに多古高校吹奏楽部と多古中学校吹奏楽部の合同演奏が披露されました。2校は3月30日(木)同ホールでの交通安全・防犯音楽フェスタでも演奏する予定です。

創立110周年記念事業

期 日：平成29年6月3日(土) 創立記念日

13:00～ 記念式典

千葉交響楽団による記念公演

会 場：多古町コミュニティ・プラザ文化ホール

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぐ形で2016年10月に改称し、千葉県を中心に音楽活動を続けている。音楽監督は、山下一史氏（東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授）